

校長室だより

読書で世界をひろげよう ～6月は杉並区子ども読書月間です～

雨の日が多くなる6月を、杉並区は「子ども読書月間」としています。

梅雨の時期に限らず、杉七小のみなさんは本をよく読んでいますね。本好きの子が多いことは、杉七小の自慢の一つです。それというのも、杉七小は、大澤先生と図書ボランティアの方々が、いつでも心地よく本を読めるよう、工夫してくださっているおかげだなあと思います。

読みたい本がすぐ見つかること、授業で学習していることをさらにくわしく楽しく学べるように関連した本が準備されていること、人気シリーズや話題の新刊が入ってきたらすぐわかるよう展示されていること、季節感のある美しいからり・・・感染症対策もバッチリです。みなさんにとってはあたりまえかもしれないが、学校図書館の充実もまた、杉七小の自慢です。ありがたいことですね。



大澤先生の読み聞かせ
次はどんなお話をかな？

子ども読書月間にちなんで、次の全校朝会では今年も絵本を読みます。題名は「ほんとに本はやくにたつ」(クロード・ブージョン 作・絵 末松 氷海子 訳)です。大人はみんな、本は役に立つというけれど、本当かな？楽しみにしていてください。



令和3年6月8日
校長 斎藤 瑞穂

螳螂生～かまきりしょうず～

七十二候によれば、6月5日から5日間ほどは「螳螂生」、前年の秋に産み付けられた卵からカマキリの幼虫がたくさん生まれる頃とされます。杉七小では、おやじの会のみなさんが5月下旬にプールからヤゴを救出してくださいました。学級や理科室で観察している人も多いかと思います。もうなんぴきか、トンボとなつて飛び立ったようですね。(くわしくは「理科だより」を読んでください。)



カマキリもトンボも、自然界ではいろいろな生き物が生まれ、活動的になる季節がやってきました。

ハイド

なんと読むでしょう？

○○○○
蚕豆

この時期、とてもおいしい豆です。
さうしょくで給食にも出ますよ。

ふかふかのさやと、ゆでるとホクホクした食感が特ちょうです。私はポタージュ・スープにしていただくのが大好きです。

さて、なんと読むでしょう。

保護者の皆様

杉並区子ども読書月間になりました。緊急事態宣言下、お家時間の充実に、お子さんと一緒に読書はいかがでしょう。なかなか遠くへ行けないこの頃ですが、読書で世界旅行、時間旅行も素敵ですね。

回答用紙

(クイズの答え)

年 組
名まえ